



京都アカデミアウィーク 2021

新丸の内ビルディング 10階 + オンライン

参加無料

京都の文化、芸術、科学等に関心のある方々に、さらに一步踏み込んだ京都の魅力をお伝えする「京都アカデミアウィーク」を、今年度は「会場参加」と「オンライン参加」の2つの方法でご用意いたしました。

例年1000名近くの申込がある同セミナー。「だから、京都行こう」をコンセプトに京都の大学ならではの、知的で刺激いっぱいのセミナーを各大学が連携して実施します。（「オンライン参加」の場合は、無料ビデオ通話サービス「ZOOM」を使用して実施します。）

会期

10 / 11 10 / 12 10 / 13 10 / 14 10 / 15

Monday

Tuesday

Wednesday

Thursday

Friday

「京都アカデミアフォーラム」in丸の内とは

「京都アカデミアフォーラム」in丸の内とは、2017年に設立され 京都外国語大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都女子大学、京都精華大学、京都美術工芸大学、同志社女子大学、京都大学が連携し、京都の文化・芸術・科学について「学術面から情報発信する場」として広く一般に認知されることを目指し、京都の魅力や価値を高めることを目的とした場の総称です。

協賛先一覧



京都アカデミアフォーラム in 丸の内 新丸の内ビルディング10F



問い合わせ先

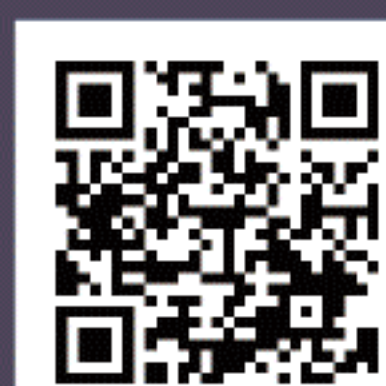
京都アカデミアフォーラム事務局

Mail: kyoto-event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参加申込フォーム

<https://business.form-mailer.jp/fms/d9eef5f2149611>

※講演会へのご参加は事前申込制になります



続きは裏面へ

京都アカデミアウィーク 2021

※プログラムについては一部変更の可能性があります。
最新情報はホームページでご確認下さい。
<http://www.kyoto-af.jp>



■ 講演紹介

10/11

Monday

14:30~16:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

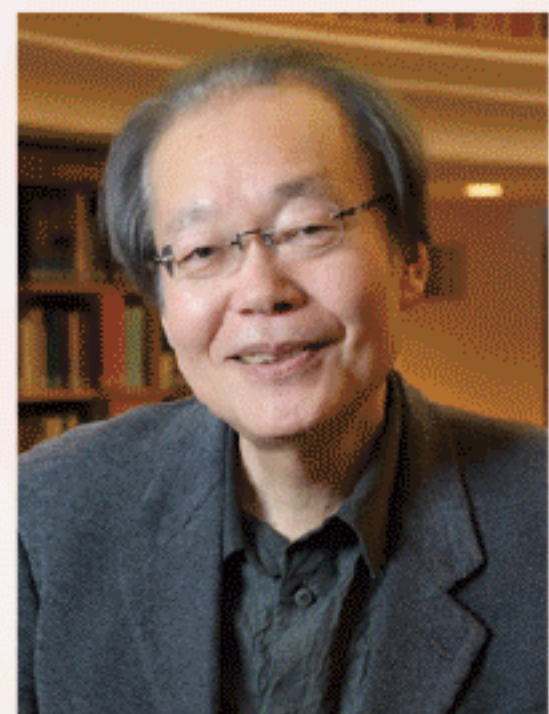
■ 京都の意外

主催：京都市立芸術大学



赤松 玉女

京都市立芸術大学
理事長
学長



井上 章一

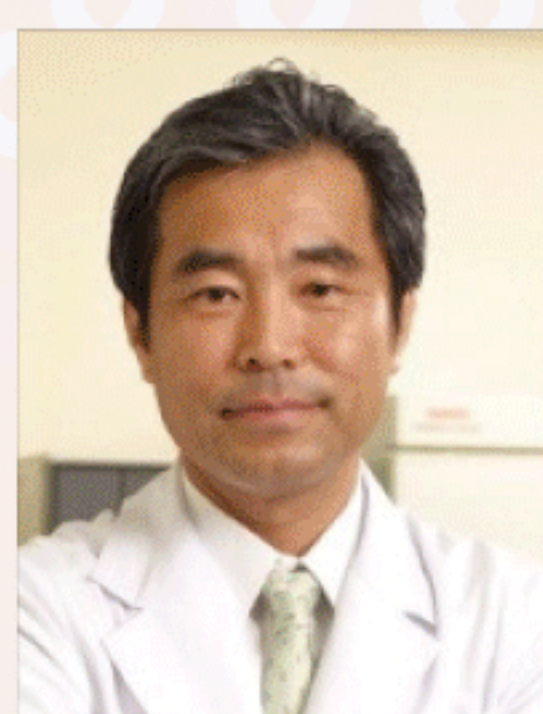
国際日本文化
研究センター
所長

京都芸大学長の赤松玉女が、国際日本文化研究センター所長で、「京都ざらい」や「京都まみれ」など京都に関する著書も数多く持つ風俗史研究者の井上章一氏をゲストにお迎えし対談します。京都に憧れ、京都芸大で学び、京都に暮らすようになった赤松学長が、生粋の京都人で京都を内側から暴く井上氏に京都のさらなる意外な一面をお聞きします！

18:30~20:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 古都京都の卵料理を科学する

主催：京都女子大学



八田 一

京都女子大学
家政学部 教授

京都と卵の関係は驚くほど古い。鎌倉時代に書かれた源平盛衰記には京都の七条修理大夫(しゅりのだいふ)信隆が鶏を5,000羽も飼育し、それらが田畑を荒らして大問題となったとの記載がある。今から1000年も前、鎌倉時代や平安時代の人々は卵を食べていたにちがいない。本講演では、古都京都から現代の京都まで、京の卵料理に着目し、京だし巻き卵の巻回数と柔らかさ、瓢亭卵の栄養学、魯山人の卵かけご飯の美味しさの秘密など、食品科学の視点から解き明かします。

10/12

Tuesday

14:30~16:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 京の歌枕一名所をよむー

主催：京都精華大学



恵阪 友紀子

京都精華大学
国際文化学部
人文学科 准教授

和歌に詠まれた名所を「歌枕」という。京都と言えば、嵐山の紅葉や竹林、大覚寺や仁和寺などの桜など、さまざまな観光スポットがある。ほかにも貴船や賀茂社など、現在も観光客が多く訪れるこれらの名所では、さまざまな和歌が詠まれてきた。嵐山はどのような場所であったのか、大覚寺はなぜ桜の名所になったのか、平安人の目にはこれらの名所がどのように映っていたのか。平安時代以降に詠まれてきた数々の和歌や漢詩から歌枕の変遷、名所の歴史を読み解いていく。

18:30~20:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 京都の「うるし」～三木表悦 4代の系譜～

主催：京都美術工芸大学



三木 表悦

京都美術工芸大学
工芸学部 美術工芸学科
工芸領域 特任准教授

100年前と比べ現代社会においては、交通の発達やインターネットの発展により、単なる知識や一過性の体験はだれもがより簡単に手に入れることができるようになった。しかし、文化という観点での知恵・経験は、多くの時間を共有し、共感すること抜きには測れない。工芸も継続的な美の共感を伴う。その一例として明治に始まる表悦という屋号、それにかかわる京塗り「表派」について少し紹介し、暮らしと共にある工芸に思いをはせる一助としたい。

10/13

Wednesday

14:30~16:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 心身の癒しへ導くマインドフルネス瞑想ワークショップ

主催：京都光華女子大学/短期大学部



谷本 拓郎

京都光華女子大学
健康科学部
心理学科 講師

本テーマでは、講義に加え、実際の体験を主目的とします。マインドフルネスは、「今のあのままの自分の状態に気づくこと」(Kabat-Zinn, 1979)と定められます。私たちは、超高度情報化社会の中、常に過度な情報の処理に追われています。マインドフルネス瞑想は、静かに今の自分を眺め、情報に翻弄されずに本来の自分の軸を取り戻す道筋であり、自分の良き面に目を向けることもできます。マインドフルネス瞑想を通じ、ニュートラルな自分に戻る心地よさを体験してください。

18:30~20:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 新型コロナウイルス飛沫感染シミュレーションへの取り組み

主催：京都工芸繊維大学



山川 勝史

京都工芸繊維大学
機械工学系 教授

本学では流体シミュレーション技術を用いることで、空気中を漂うウイルスの可視化に取り組んできました。見えないウイルスを可視化することで、その対策を直感的に理解しやすくなります。今回の新型コロナについてはスパコン富岳を利用することでより詳細且つ大規模な計算を行うことができました。本学のウイルスシミュレーションに対する取り組みを、これらのスパコンによる結果と共に解説します。感染対策の参考にして頂ければ幸いです。

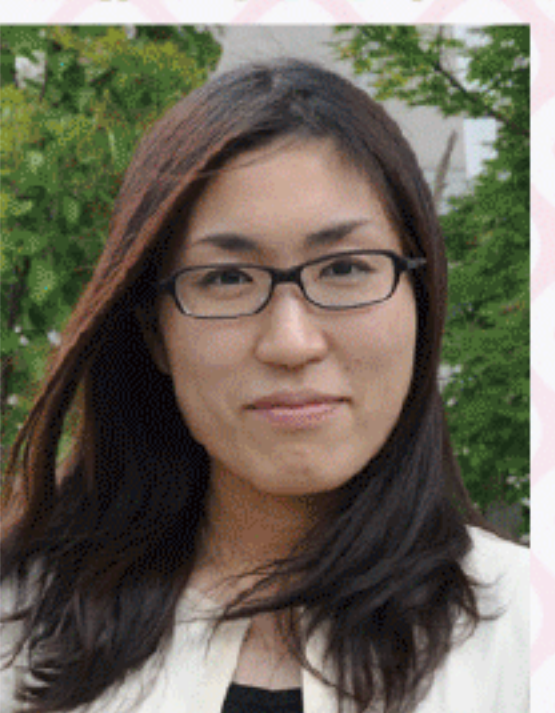
10/14

Thursday

14:30~16:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 京都に息づく地域コミュニティと暮らし

主催：同志社女子大学



麻生 美希

同志社女子大学
生活科学部
人間生活学科 准教授

歴史都市として多くの人を惹きつける京都。世界遺産に登録されている寺社仏閣もさることながら、生活してみると、地域コミュニティや暮らしの営みの魅力に気づきます。一方で、世界中から訪れる観光客の増加やそれにとまなう不動産投資・ホテルの建設ラッシュなど、京都の文化的価値の高さやブランド力が故の変化に地域がさらされていることも事実です。オーバーツーリズムとも言われる状況下で、町並みや生活環境の保全のために住民主体で活動している地域を参考に、京都のまちづくりについて考えます。

18:30~20:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 京都の禅宗の尼寺ーその魅力と困難ー

主催：京都外国語大学



竹下 ルツジェリ アンナ

京都外国語大学
外国語学部
イタリア語学科 教授

日本だけではなく、西洋においても、無外如大禅尼(1223-1298)という「女性禅師」が注目を集めている。鎌倉時代の女性であり、京都尼寺五山の一つである景愛寺の開山となった。尼五山制度は室町幕府の破壊に伴って衰亡したが、十四世紀後半から上流階層のつながりを持つ尼門跡寺院いわゆる比丘尼御所は今でも残っている。本講演では、臨済宗を中心にして、尼門跡寺院も含めて未だ京都に存在している禅宗の尼寺を紹介すると同時に、日本の尼僧たちが面していた困難などについて考えたい。

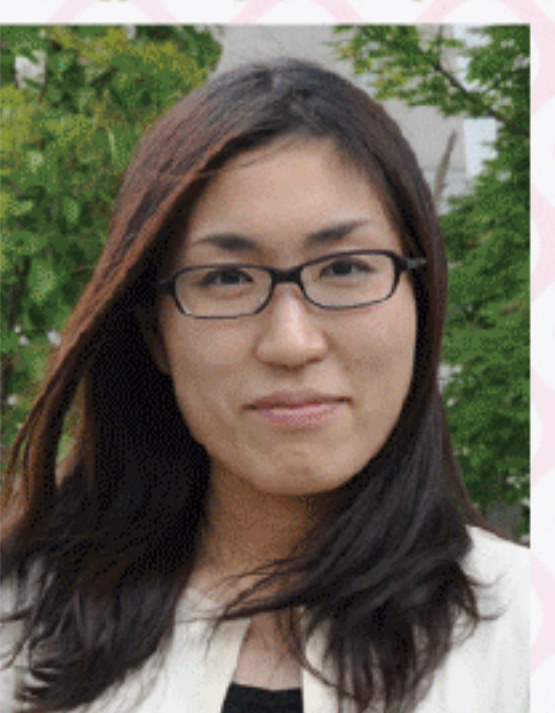
10/15

Friday

14:30~16:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 京都に息づく地域コミュニティと暮らし

主催：同志社女子大学



麻生 美希

同志社女子大学
生活科学部
人間生活学科 准教授

歴史都市として多くの人を惹きつける京都。世界遺産に登録されている寺社仏閣もさることながら、生活してみると、地域コミュニティや暮らしの営みの魅力に気づきます。一方で、世界中から訪れる観光客の増加やそれにとまなう不動産投資・ホテルの建設ラッシュなど、京都の文化的価値の高さやブランド力が故の変化に地域がさらされていることも事実です。オーバーツーリズムとも言われる状況下で、町並みや生活環境の保全のために住民主体で活動している地域を参考に、京都のまちづくりについて考えます。

18:30~20:00 定員：現地/50名、オンライン/最大200名 対象：一般

■ 平等院鳳凰堂ー来世の祈りの芸術ー

主催：京都大学



富島 義幸

京都大学
工学研究科 教授

現世につくりだされた極楽浄土ー京都そして日本を代表する名建築・平等院鳳凰堂はこのように語られてきました。その優れた造形の説明は、これだけでじゅうぶんかもしれませんが、しかし、鳳凰堂を建立した藤原頼通や、平安時代の人びとの信仰世界に踏み込んでいくことで、そこにはさらなる豊かな意味を見出すことができます。鳳凰堂が直接の影響をあたえた平泉・奥州藤原氏の無量光院阿弥陀堂などもあわせ、その造形にこめられた来世への祈りを読み解いていきます。